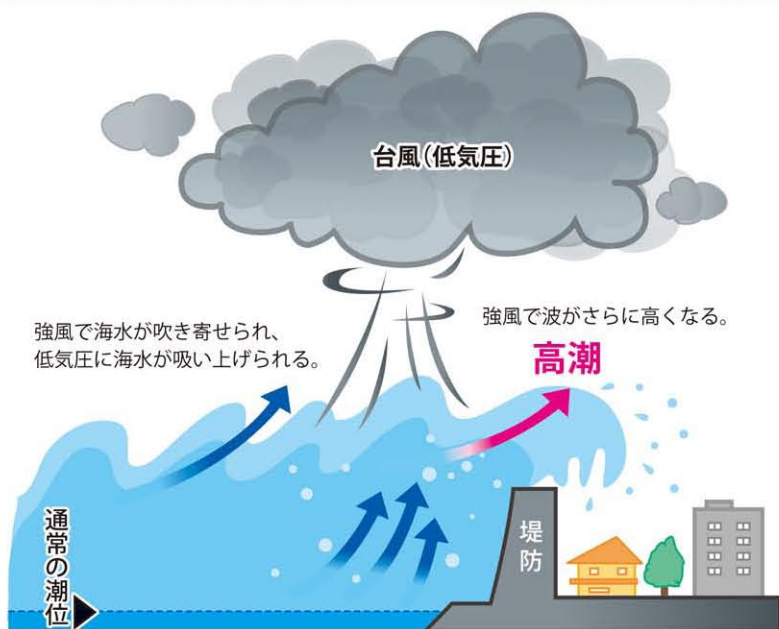


風水害を知る

風の強さと吹き方 ※瞬間最大風速は、風速の1.5倍から3倍になる場合があります。

予報用語 平均風速(m/s)	《やや強い風》 10~15	《強い風》 15~20	《非常に強い風》 20~25 25~30	《強烈な風》 30~
人への影響	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人もでる。	しっかりと身体を確保しないと転倒する。	立ってられない。屋外での行動は危険。
建造物の被害	取り付けの不完全な看板やトタン板が飛び始める。	ビニールハウスが壊れ始める。	鋼製シャッターが壊れ始める。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。	ブロック塀が壊れ、取り付けの不完全な屋外外装材がはがれ、飛び始める。 屋根が飛ばされたり、木造住宅の全壊が始まる。

高潮発生メカニズム



低気圧による吸い上げ

台風や低気圧の中心付近では、気圧が低いため、その部分の空気が海面を吸い上げるように作用する結果、海面が上昇します。
気圧が1hPa低くなると、海面は約1cm上昇します。

風による吹き寄せ

台風などによる強風が沖から海岸に向かって吹くと、海水が海岸に吹き寄せられ海面が上昇します。潮位の上昇は風速の2倍に比例します。風速が2倍になれば海面上昇は4倍になります。
また、台風接近に伴い風で大きな波も発生して、海面が更に高くなります。

竜巻から身を守る

竜巻は、発達した積乱雲に伴う強い上昇気流によって発生する渦巻状の激しい突風です。短時間で、狭い範囲に集中して甚大な被害をもたらすことがあります。

⚠️ 接近している様子が見えたら直ちに避難行動を！

- 黒い雲の底が漏斗(ろうと)状に垂れ下がっている。
- 物やゴミ等が空中に巻き上がっている様子が見える。
- 「ゴーッ！」という音や、「キーン！」という音がする。
- 気圧の変化によって耳に異常を感じる

1 頑丈な建物の中へ避難

- 避難する時は屋根瓦などの飛来物に注意する。
- 避難できない場合は、物陰やくぼみに身をふせ、両腕で頭と首を守る。



⚠️ 危険 → 車庫・物置・プレハブへの避難は危険です。

2 屋内でも窓や壁から離れる

- 窓、雨戸を閉め、カーテンも閉める。
- 家の中心部に近い、一階の窓のない部屋に移動する。
- 浴槽や丈夫な机の下に入り、両腕で頭と首を守る。

落雷から身を守る

落雷による感電死亡事故が毎年繰り返されています。正しい知識を身につけて速やかに安全な場所へ避難することが有効です。

⚠️ 周囲が開けた場所は危険！

- まわりより高い所に落ちやすい。グラウンドやゴルフ場、屋外プール、堤防や砂浜、海上などの開けた場所や、山頂や尾根などの高いところ。

⚠️ 木のそばは危険！

- 落雷を受けた樹木等のそばに人がいると、その樹木等から人体へ雷が飛び移ることがあります。(側撃雷) 木の下での雨宿り、電柱の下など。

1 雷鳴が聞こえたらすぐ避難

- 雷鳴が遠くても、雷雲はすぐに近づいてきます。屋外にいる人は安全な場所へ避難しましょう。

2 建物の中や自動車へ避難

- 建物や屋根付きの乗り物(自動車など)へ避難しましょう。

⚠️ 危険 → 雨宿りでの木の下にはいるのは大変危険です。

3 木や電柱から4m以上離れる

- 側撃雷の恐れがあるので、木や電柱から4m以上離れてください。右の図の三角の範囲内は比較的危険は小さいですが、なるべく早く屋内の安全な場所へ避難しましょう。
- 近くに避難する場所が無い場合は、姿勢を低くしましょう。

